夕刊
二十九日
(日曜祭日翌日休刊)
定價 (郵税共) 月分金六拾錢 五箇月分金壹圓五拾錢
發行人 柏木勇 印刷人 柏木勇 印刷所 磐城新聞社 福島縣磐城郡平町大字平字町六番地 電話平一番 (交換五回) 振替口座福島一二九番
磐城新聞社 (名刺式) 電話平一番 (交換五回) 振替口座福島一二九番
磐城新聞 (タイプライター式) 電話平一番 (交換五回) 振替口座福島一二九番

童謠詩派同人短評

蛙山人

加藤輝雄君　冷澄さながら秋水の如し。童謠詩技も君には一の餘技か。學識と言行、はるかに予蛙山人を凌ぐうらむらく蛙人ほどの糞度胸なし。故に自信あるべき作にも『これあ駄目でえ』と云ひ、一束の駄作を抱いて時に莞爾たり。

宗門の名家に生立ち、眉目また秀。輝雄大成せば童心良寛の如からん。予ひそかに敬す。一夜に數十枚の原稿を書きなぐるなど甚だ壯なるも、翌日は終日寢てゐるに至りては餘り讃めもの に非ず。望む。再び童謠詩技に堪能せよと。

原勝君　童顔足柄山の金時の如し。童心また躍如たり。君、童謠演出の技、既に聲名あれども童謠詩作にて天下を震かんせしむるに未だし、東洋大學を卒へし故餘閑ありとて、曰く撞球麻雀、おそよ研道せざるなし。過日も予蛙山人と吉祥寺にベビーゴルフをなす。優勝ばるかに君の上にあり。ただ、餘りに何でも出來る故、一方に執せぬ憾みあり。君の童謠詩の甘きもこの邊に消息せん。多作せぬは自重する如く見え、實は多く忘るゝに非ざるや、原君に望むはもつと惡人たれ。惡人たれど作品の善惡、君の如くとなり、餘りに好人物に過ぎ、作にコツなき、予の常に言ふ所、但し蛙人の如き極惡人となる勿れ。

文字を叮嚀に書くやう又君に望むところ。

市川健次君　遥わるく島木赤彦逝きたる後、予と知れる故、予に滿足するなれど蛙山人の門人なるに納到底するとせざるはこの邊に重

〔時代警語〕

○人道の要務は私慾を制してよく勤勉し節儉を守りて仁義を行ふにあり……(二宮尊德)

人心の放僻、邪僻に流るるは自然である。仁義禮讓を以て之に教へて之を勤めて怠らざるは人道である……

るべき人物ならず。童謠詩の精神を掬み、今や予の上に君臨するさまなり。百姓の激しき勞働の傍らにあれだけの作品を書く苦心、なみ〳〵には非ず。

たゞ、君にいふ。君既に詩に唄に一家をなす故に童謠詩芝にも餘りコツを呑込み過ぎて巧にして趣尠し。おほらかなる童心、大悲良寛のごときもの、君に望まし、望まし。

原田小太郎君　蛙山人と最も長くひつかゝる一人なり。時に甘え、時にすね、多くの心配をかくる厄介者なり。童心のされは少しも大なるものを藏すを。

次ぎに放浪性あるは蛙山人によくも似たるものかな君、落着けよ。猶文字の出たら目なるは同人中第一、『いはらき』の津川學藝部長などに多大の御迷惑をかくる所ならん。

山口正夫君　過日吉村冬彦先生に會ふ。乃ち『野の雉子』を賞讃して止まず。山口君のみならず、欣び又蛙山人にあり。君の純朴清心、童謠詩人中にも稀ならむ。到底天邪鬼蛙山人の及ぶ所ならず、童謠詩また純心淨一、ときに至りて拙劣見るべからぬものあり、修道々々とのみ君に云ふ。

山口君の才氣なき所は乃多く、されど又加藤輝雄

潮聲

第四十九集

(岡本機柳撰)　松堂

初獵

初獵や黎明の沼遠卷す
一歩々々初獵の山の曙を
初獵や芒平の焚火跡　武門
初獵や靜まり返へる山の湖
初獵の銃のこだまに峽の晴　武門
初獵や陽のあたりゐる岩禎　十里
初獵や妻の握りし飯の味　十里
初獵に惜しむ入日や獨り言　砂丸
初獵に子等のよろこゞ獲物かな　砂丸
初獵の落葉踏み行く山路かな　鶴歩
初獵や水郷の朝景氣よし　鶴歩
初獵の手柄ばなしに夜の更けぬ　鶴歩

拈華微笑

炭鑛の利益配當確實は同時に平町に好景氣來確實。朗かな話だ

◇

炭鑛株の値上り　看屋さんは語るも虫のせいや痢

◇

のせいぢやある　まい

◇

義捐金さへ斷つた家がある。年賀なんか當然と

◇

久し振りの快晴師走の活動上コンヂションが良くなつて結構

◇

不純なのを産んであの世へ。孕んで相談所へ

◇

怪に過ぎ荒誕に失し、一つ

◇

領選舉、ザモラ氏當選(同六)

露

(詩)　新妻敏男生

白矛の裾の白珠は
靜かに藻を喰ふ白魚のやうに
またお前の姿は夏の夜に
子を孕んだ若い狐の娘のやうに
いとものうげに瞬いてゐる。
なれど見よ今！
お前の姿は眠れる蠶のそのやうに
戰きの灰色に包まれて
また歩む毎に
闇をうそぶく梟のやうに
蒼白い夢の手を覗き見る……。

秋

春岡芳雄

碓子をとうした
黄色な光線のなかで
一匹の蠅がかたかたと死んで居つた。
子供が一人
その屍をじつとながめてゐる
眞白な尖端をもつた冬の前衛が
かつぎり東をさして走り去つた。

社會の今日

○

千鳥なく須磨の關屋の
跡もなし　取山
枯芦や鳴かぬ千鳥の洲
を走る　芋月

△王政復古の勅命下る(慶應三)△敦賀新10月12日—笹川河口に火繩式の大砲發見(昭和四)

△聖上名古屋離宮を同市へ下賜(同五)△富民協會第四回米穀多收穫褒賞贈呈式鹿兒島で暴行△聯盟理事會公開會議で日支紛爭の平和的處理に關する決議案全會一致可決、會議終る△スペイン大統領盧慮は如何なるもので

講談

お蘭陀お蝶

(203)　渡邊默禪作　布施長春畫

『はい、左樣でございます坊さまが被仰ることには明日此の村の鎮守の夜祭りに若い娘們が出て踊る、その踊が濟んでからお杜へお籠りをさせて一心に不動さまを祈念させろ、その女子は世上に流す害毒一通りではお蝶と同じ年配で成るたけ美しい緻緻でなければならぬ。だ籠の場所には一切男が這入るな、這ると目がつぶれて啞になると此の樣に被仰りましてございます』

『うむ、扨こそ胡亂な賣僧奴ッ』

龍馬は袴の膝を丁と打つた。

『若さま、お聞きなさるゝ通りでございます』

龍馬は眞輝の方へ向直つて

『拙者の推察仕まつるところではその寂光坊こそ頗る不審な奴、お蝶を攫ひ取つたのも或は其の賣僧の仕業ではあるまいかと、箇樣にる』

と答へる下から輿平は水涕を手の甲で啜り上げて前

乘出した。

『併し旦那樣只今のお言葉はそりや、大變なお間違ひでございますぞ、そんな胡亂な法印さまなら何も村中大騒ぎして信心いたしませぬ、それは〳〵最う有難い女子をのみ集めて、通夜をさせるといふのも訝かしけりの証據がお蝶のことでも知れてゐます、災難の湧い入る者は皆になり、啞しになるなどゝ愚にもつかぬことを申し聞けた一段、何とも以て合點が參りませぬ此奴專に依れば、表に弘法濟度の德を飾つて愚夫愚婦を惑はし、内實は破戒無慙な行ひをなしてひそかに私腹を肥してゐる一種の惡修者ではござるまいか。も若い娘們が出て踊る、その踊が濟んでからお杜へお籠りをさせて一心に不動さまを祈念させろ、その女子は

『併しそのお蝶を攫つたのが活神ならば、一つ術くらべ腕くらべを致して見やうではないか、彼に千里の外を觀る眼があるなら、龍馬にも又同じ眼がある、拙者の判斷ではお蝶を攫つたのがその活神又た明夜の祭にも幾人か攫ひ取られた上、身を汚されるやうに相成るかのう、大地打つ槌は外るるともよもや此の鑑定は外れまいぞよく覺えて置け』

『えへ——』

輿平は膽を潰して龍馬の顔を瞻つた、どつちが嘘か眞箇やら、此處半信半疑夢の中に夢が重なつたやうな心地である。

ラヂオ

……十日…〔土曜〕…

仙臺　JOHK

△前七、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇　氣象
△九、一〇H　料理献立(菊花饌　外)　成田玉純
日用品値段
△一〇、三〇　家庭講座(フランス農村所見)　井汲清治
△正午A　時報　氣象
△後〇、〇五　管絃樂　日本放送交響樂團(新交響樂團練習所より中継)
△〇、四〇　ニュース
△一、五〇　五、〇〇A　海軍獻納報告飛行機三谷號命名式狀況　羽田東京國際飛行場より中継
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△五、〇〇A　受驗講座(英文和譯)　佐川春水
△六、〇〇(子供の時間)　少年講談(神馬金華山號)　三浦樂堂
△六、二五　コドモのシンブン　村岡花子
△六、二五　英語講座(中等科)　萩原恭平
△六、五五　カレント・トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇　國際時局特別講座(日支問題に對する各國の輿論)　赤松祐之
△八、〇〇A　小唄　蓼胡佐和
△八、二〇H　常磐津(釣女)　常磐津千歳太夫　同さかえ
△八、五〇　忠臣藏花暦…映畫物語(高田の馬場の仇討)　谷天朗
△九、三〇　時報
△九、三一　滿洲より　ニュース　氣象

良い寫眞！
最新式設備……新しい技術
寫眞館サクラ
平町田町　驛前通り

大塚の特賣
◎男女耐久學生靴　五圓より
◎七五三御祝小供靴　八十錢より
◎同　小供ゴム長靴　四十錢より
最新形入荷
◇アンダーシャツ
◇オーバーセイタ
◇流行シャムバー
各種豊富に安價に！
大塚　製靴部　運動具部
平田町　電話七七番

吉田眼科病院
平町紺屋町

診療時間　夜
胃腸科　内科　十二指腸虫病　専門
極秘科　淋病　婦人病　皮膚病　專門
内科部　外科部
松村胃腸性病科醫院
(平町南町電一〇七番)

メリヤスの類の特價賣出し
ショール　メリヤス　毛製品　その他！
特價品　豊富陳列
七五三祝　子供服　オーバー　帽子
ヤルツ
平四一電〇四

七五三に是非
大人になつてから小供時代の姿を見たいのは人情です。再び來らぬ幼少時代の可愛い御寫眞を揃へて保存してやるのは親さん方の御情けと思ひます。是非た宮參りの御歸りがけに御立寄り下さいませ。御祝ひの爲に當館も特に勉強致します。
平町才槌小路一番地(田町通り)
ライト寫眞館
電話五三五番

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士　山内亨吉
入院隨意　病室完備
電話六九一番

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ(松崎ニ)
三九二タクシーヘ
(デンワ、ミクニ)

内科　花柳病科　小兒科　入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

金銀高價買入
純金八圓七十錢買入
大判　廿二金　七圓五〇錢
小判　廿金　六圓五〇錢
十八金　五圓六〇錢
金屑　六圓五十錢
以上一匁ニ付
確實高價買入
金光堂時計店
平五九一電五

開店御披露
各位倍々御清祥の段奉賀上候、扨て去る八月一日類燒以來休業致し居り候處愈々落成四日より從前通り開業致し候間舊に倍する御贔負御引立を相仰ぎ度偏に御願申上候
十、二月九日
平町南町川岸通
玉よし
電話四二六番

今期をドン底として 來年から利益配當確實

各方面から炭況好轉豫想

最近の炭界は製糸、紡績、鐵鋼等一般産業界の活況と同時に石炭需要期に入つたのと販賣統制會社の設立によつて漸く好轉の兆を示して來たが本年下半期を通じて見る時は七、八月の最悪狀態に影響され下半期に於ける磐城の出炭高は三十三萬七千噸で前期より六萬噸を減じてゐる、斯くの如く各社は七月以降姿炭調節擴張によつて出炭が減少せるのみならずその後の各社における投資によつて炭價は著しく低落しいづれも利益の激減を來したので九州炭鑛は配當二分減の年六分とし磐城炭鑛は依然無配を繼續、入山採炭は三分を無配に内定した。從つて炭鑛會社は本年下半期をどん底として來期の好轉を豫想してゐるのみならず各地の製糸業が旺盛で頻りに消化されてゐる關係から常磐の塊炭つたが汽車賃(四割引)其他一圓五十錢、粉炭七十錢經費合計六十圓六十六錢で主なる參詣地左の如し

岡山、厳島、香稚宮、宮崎宮、博多、太宰府、熊本、鹿兒島、宮崎、青島

から十泊十四日間の神詣團体四百名を募集する事となつて在平日刊新聞記者等の筆鋒合同忘年會は來す五日午後五時から住吉屋本店に於て開催するが出席約五十名の見込で例年通りの盛會を豫想されてゐる

東部聯合教育會へ 松岡全權から謝電

外務省經由本日着

濱三郡東部聯合教育會に今九日蒼府松岡全權から外務省を經て激勵電報に對して去三十日付左記返電あつた

御懇電深謝す同僚全權等の驥尾に附し只微力を致さん事を期す

圖書巡回展

磐女生十二名出陳

縣下女子中等學校生徒圖書作品巡回展覽會は磐城高女を今九日打切り明十日から相馬高女に移動するが磐女の出陳者次の如し

I若松キミ、白土ワカ、大塚照子、橋本キミ、2樋口君子、志賀美都子、江尻恵美子、佐伯ジュン3大塚澄子、比佐朋子、山本マサ、森英子

平驛收入依然赤字

去月中の前年對比統計

平驛去月中の旅客貨物取扱高は（括弧内は昨年比較）△旅客乘三八、七九三人（△五、三八四）運賃一七、七五二、三六錢（△五、九八）△降三七、五六一人（△五、六一六）△貨物發二、七〇一噸（△二、〇八三）運賃六、八七一、五六錢（〇九四五、二一）△著七、五三一（△五、三六九）

で依然相當な赤字であるが今月初めから歳末仕入品、△旅客乘三八、七九三人（△五、三八四）運賃一七、七五二、三六錢（△五、九八）△降三七、五六一人（△五、六一六）△貨物發二、七〇一噸（△二、〇八三）運賃六、八七一、五六錢（〇九四五、二一）△著七、五三一（△五、三六九）

で依然相當な赤字であるが今月初めから歳末仕入品、△旅客乘三八、七九三人（△五、三八四）運賃一七、七五二、三六錢（△五、九八）△降三七、五六一人（△五、六一六）△貨物發二、七〇一噸（△二、〇八三）運賃六、八七一、五六錢（〇九四五、二一）△著七、五三一（△五、三六九）

鐵道主催 神詣團体

來春二月出發

水戸運輸事務所管内各驛長合同主催で來春二月十七日鶏土神社、宮崎宮、別府宇佐八幡、耶馬溪、羅漢寺、琴平社、高松、屋島栗林公園、大坂、京都、奈良、山田、伊勢大廟、桃山御陵、二見浦

請求の控訴審に 官が費用救助

運送屋と從業員遺族の繫爭 成行き刮目さる

磐崎村居住伊達郡宮城控訴院に其の事情を訴訟費用一切の救助を受けて十五日第一回辯論が開廷される事に決定した、尚控訴院では現場の證據

損害賠償

川俣町生れ高野與(四二)は去る三月同村藤原から小名濱の築港用石材運搬作業中同村湯の嶽地内で軌道橋が折損し六十尺の谷底に墜落保全のため四日勅使河原判事外二名及仙臺高等工業學校結城教授の一行が來郡五兩日に亘り實地踏査の上七日歸仙した、松野尾辯護士は語る

控訴費用の救助は勝訴の見込なきに非ざる場合控訴院が支出する事で本郡では極めて珍しい事件である

筆劍合同宴

十五日忘年會開催

裁判所、檢事局、警察官及在平日刊新聞記者等の筆劍合同忘年會は來す五日午後五時から住吉屋本店に於て開催するが出席約五十名の見込で例年通りの盛會を豫想されてゐる

年懷かしい汽笛に 迫る飛出す小兒

悠長に流して行く 移動禁いも屋

……(I)……

▽　△

灰色の雲が一面に空を掩ひて闇仰井嶽の頂上で冷却ル階級の人々はやれ牛鍋だ動燒薯やさん——といつて五時から住吉屋本店に於て開催するが出席約五十名の見込で例年通りの盛會を豫想されてゐる

月頃から同店に足繁く出入りした羅平町田町居住自動車運轉手磐中半退北田某(二八)と情を通じ十月中茨城縣平潟町に移轉後も引續き時折の逢瀬を樂しんで來たが此程姙娠してゐる事を感づき男に身の振方を相談したが全然取り合はぬので今九日人事相談所に出頭男への說諭方を願ひ出たが係官

溶びせられた如くザワザワ？と惡寒が身に泌みるとブの場末には此處、彼處に移時には煩べたを覗くしたお味けりや彼處と、轉々として師走の街を流れて行く……。

（玲光生）

山雪降る

間もなく

兩三日來急に氣温が低下し毎朝薄氷さい見られ赤井嶽も漸く身を切るやうになつたが昨八日は澤渡、三坂方部に初雪が降り三寸から五寸位迄積つた

之亦享樂から破滅へ

私生子を苦に入水自殺

平町新町猪狩貢(三五)は三年井戸に飛込み自殺した更生講演會　農林省經濟更生部宗像利吉氏の自力更生講演會は昨八日午前九時から植田小學校で開催した神に異狀を呈し飯野村谷川瀬の實家に引取られて居たが昨八日午後五時頃自宅裏

弔慰金千百圓 贈與

一人廿圓宛五十五口

平鮮魚商組合から海の犠牲へ

平町鮮魚商組合が海上遭難犠牲五十五名の遺族を歴訪者遺族の爲に募集した弔慰一人當り二十圓宛を贈る事金は既に千圓を突破する事になつた、募集に奔走した四十五圓大体豫算にふづいたので尚ほ若干の不足分を取り纒め十一、二日頃海の

（發起人次の如し）

魚清鈴木賢次、藤寅菊地寅次郎縣伊具郡丸森町生れ日雇佐藤三左工門(五一)は昨八日午前十時頃同町天王崎運送業長岡堯守方倉庫で鐵道車運搬作業中誤つてその下敷と

鐵道に潰される

運搬夫が就勞中即死

腐爛した男の首

恐らく過般の遭難者か？ 漂着した小名濱で假埋葬

昨八日午後五時頃小名濱町古港地内海岸へ腐爛した男の首が漂着したので平署員が檢視したが身許判明せず町役場で一先づ假埋葬した恐らく過般の遭難者であらうと

内郷新組 事務好績

内郷村信用購買組合は

先年計數觀念と此種の經理にかけては鼓も明晰な頭腦の持主である山崎車太郎氏が專務理事に就任以來鋭意業務の刷新改善を圖り過般役場構内に事務所を新築移轉以來は更に面目一新の觀あり過日行はれた縣係官の事務監査に當つても内外の整頓振りを賞讃されたとの

産婦人國記

赤井嶽男記　九

△完成された人々

佐波古直明氏（湯本）廣島市産婦人科山陽醫院長醫學博士。つゞき

京都の大學へ入るといふから頃から他の學生の方面の應援を仰いで卒業後及ぶまで三千圓の借金をしたが後年すつかり之を返してしまつた事は育英會

かせの所謂成功者のとして模範とすべき點である。大學在學中は授業料を被服費だけを父に仰ぎ他は月々恩借の十圓で生活したといふから他の學生の如く祇園に白粉の香をあさる樣な事が出來なかつたのは勿論で相當苦學したものといふ事が出來よう、以上は大正元年佐波古博士が京都大學を出るまでに嘗めた刻苦精勵振の大体であるが卒業後引續き大學附屬病院の副方面で人間救濟の途に精進手助手時代にも可なり慘憺たる苦楚をなめたものであるさうな。若しそれ直明博士たるもの父祖の業たる神官となつて今の聽診器持つ手に何とかやらの『みてぐらを』を棒げ水産工業のモーターサイレンの樣な妙音で神樣をお呼び立てしたりなどして今にたよんだなら今日の禍福果して如何、叔父故八木澤辰教醫師の感化とどつた故か敬神崇祖の精

神的教化匡救の事業から笏

磐中人國記

赤井嶽男記

以て模範とすべき點である。大學在學中は授業料を月々恩借の十圓で生活したといふから他の學生の如く頃から他の學生の如く祇園に白粉の香をあさる樣な事が出來なかつたのは勿論で相當苦學したものといふ事が出來よう、以上は大正元年佐波古博士が京都大學を出るまでに嘗めた刻苦精勵振の大体であるが卒業後引續き大學附屬病院の副方面で人間救濟の途に精進手助手時代にも可なり慘憺たる苦楚をなめたものであるさうな。若しそれ直明博士たるもの父祖の業たる神官となつて今の聽診器持つ手に何とかやらの『みてぐらを』を棒げ水産工業のモーターサイレンの樣な妙音で神樣をお呼び立てしたりなどして今にたよんだなら今日の禍福果して如何、叔父故八木澤辰教醫師の感化とどつた故か敬神崇祖の精

神的教化匡救の事業から笏

奔放な戀愛遊戯を 悔ゆる若き女性

男が冷然取り合はぬ爲 せり出た腹を相談所へ

元平町五丁目居住和歌山マツ(三六)特に假名一は昨年七

想像する然し——。

▽　△

「親爺がヨイトマケで稼いが來る勞銀で其の日〳〵を生きて行かねばならぬ勞働者街では燒薯、キンツバ位にありつくが關の山なのである」之を當て込んで近頃の場末には此處、彼處に移時には煩べたを覗くしたお味けりや彼處と、轉々として師走の街を流れて行く——。

▽　△

燒く火力を應用した汽笛が ピヨー！、ピヨーと街の辻ラック？塗りの樣にピカ〳〵光るはな垂し小僧の幾人かが喜び勇んで走り寄るが眼目なら其處。其處が不味けりや彼處と、轉々として師走の街を流れて行く……。

（玲光生）

三小學校 年末賞與

月俸の半額に決定

平町小學校のボーナスは月俸の五割で月末配給するが各校別に見ると

△第一校—九百十圓△第二校—九百十六圓△第三校—四百二十七圓　計二

密獵

湯本町小松良雄(二二)は十月二十四日無免許で空氣銃を使用し雀五羽を捕獲し平區から二十圓の略式命令を言渡された

隔離

飯野村北白土谷川敏雄(二一)は昨八日デフテリアと決定隔離された

腐爛した男の首

恐らく過般の遭難者か？ 漂着した小名濱で假埋葬

昨八日午後五時頃小名濱町古港地内海岸へ腐爛した男の首が漂着したので平署員が檢視したが身許判明せず町役場で一先づ假埋葬した恐らく過般の遭難者であらうと

内郷新組 事務好績

内郷村信用購買組合は

先年計數觀念と此種の經理にかけては鼓も明晰な頭腦の持主である山崎車太郎氏が專務理事に就任以來鋭意業務の刷新改善を圖り過般役場構内に事務所を新築移轉以來は更に面目一新の觀あり過日行はれた縣係官の事務監査に當つても内外の整頓振りを賞讃されたとの

鐵道に潰される

運搬夫が就勞中即死

前十時頃同町天王崎運送業長岡堯守方倉庫で鐵道車運搬作業中誤つてその下敷となつた處が俄かに起る爆笑！爆笑◇新田町にしては別段珍らしくも無いが當者のおひろめが何でそんなに可笑しいか

産婦人國記

赤井嶽男記　九

△完成された人々

佐波古直明氏（湯本）廣島市産婦人科山陽醫院長醫學博士。つゞき

京都の大學へ入るといふから頃から他の學生の如く祇園に白粉の香をあさる樣な事が出來なかつたのは勿論で相當苦學したものといふ事が出來よう、以上は大正元年佐波古博士が京都大學を出るまでに嘗めた刻苦精勵振の大体であるが卒業後二ケ年に及ぶまで三千圓の借金をしたが後年すつかり之を返濟した事は育英會

前田醫嚴父

植田町醫師前田清美氏嚴父

植田町醫師前田清美氏嚴父清臣翁は夙て病氣中であつたが療養叶はず今九日午前四時三十分長逝來十二日午後一時出棺同町常春院で佛葬を執行すると、因に翁は資性正廉潔白、其間苟も非死去致候間生前中の御懇情を謝し御通知に代へ本紙を以て辱知各位に謹告仕候

追而來る十二日午後一時本町桃源山常春院に於て佛式相營み申候

昭和七年十二月九日

福島縣植田町

嗣子　前田清美

親戚　山田肇

總代　吉野喜三

根本武雄

友人　金成通

父清臣儀　永々病氣加療中之處藥石効なく本日午前四時三十分

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門

平町南町（元眞木辯護士跡）

增田耳鼻咽喉科醫院

電話　四八二番

（入院隨意）

難波醫院

內科　一般

醫學博士　難波睦

平町大町新川端（電話五〇二番）

△出生

十五丁目二五茨城縣久之郡小里村德田六二〇佐藤新之介一男京敎

△婚姻

白銀町甲二東京市移轉區上井草町一五三九吉田素(二六)東京市世田ケ谷區代田一丁目五〇七高田實枝(二四)

舊十月三日　新暦十一月十日　乙巳　二十一日　大安　柳宿

暦判定廳番

東京市本郷區湯島四丁目五番地高島易斷總本部　神算館

▲一白の人　苦勞の經驗は處世の藥と力落さず勵むべし▲二黑の人　兵らう盡きては職は負他より賞力を仰ぐ吉▲三碧の人　引立も同情も深し屈せず努むれば榮運ぱん回▲四綠の人　體力を練り英氣を發ひ勞苦に堪ゆれば安金▲五黃の人　勞苦は附纏へど幸棒は能く之を打拂ふべし▲六白の人　幸運として安心するな悲運は後ろにきよをねらふ▲七赤の人　沈滯すれば水も腐るよどまず流れに押し進め▲八白の人　無理な進んとすれば力盡きて破れ大なり▲九紫の人　大望を起すは夢にて正こうとなりたるが如し

とぼけ顔をした鮮人燒薯一敗の儘來年に延期決定した

『……きんちゃぱ屋さんもしよこら歩きやしゆからとてもかなえやんわい……』

と悲憤慷慨。それでも流石は遲鈍悠長な彼等だ、此處に味けりや彼處と、轉々として師走の街を流れて行く……。

（玲光生）

三小學校 年末賞與

月俸の半額に決定

平町小學校のボーナスは月俸の五割で月末配給するが各校別に見ると

△第一校—九百十圓△第二校—九百十六圓△第三校—四百二十七圓　計二

密獵

湯本町小松良雄(二二)は十月二十四日無免許で空氣銃を使用し雀五羽を捕獲し平區から二十圓の略式命令を言渡された

隔離

飯野村北白土谷川敏雄(二一)は昨八日デフテリアと決定隔離された

産婦人國記

赤井嶽男記　九

△完成された人々

佐波古直明氏（湯本）廣島市産婦人科山陽醫院長醫學博士。つゞき

京都の大學へ入るといふから頃から他の學生の如く祇園に白粉の香をあさる樣な事が出來なかつたのは勿論で相當苦學したものといふ事が出來よう、以上は大正元年佐波古博士が京都大學を出るまでに嘗めた刻苦精勵振の大体であるが卒業後二ケ年に及ぶまで三千圓の借金をしたが後年すつかり之を返濟した事は育英會

前田醫嚴父

植田町醫師前田清美氏嚴父

植田町醫師前田清美氏嚴父清臣翁は夙て病氣中であつたが療養叶はず今九日午前四時三十分長逝來十二日午後一時出棺同町常春院で佛葬を執行すると、因に翁は資性正廉潔白、其間苟も非死去致候間生前中の御懇情を謝し御通知に代へ本紙を以て辱知各位に謹告仕候

追而來る十二日午後一時本町桃源山常春院に於て佛式相營み申候

昭和七年十二月九日

福島縣植田町

嗣子　前田清美

親戚　山田肇

總代　吉野喜三

根本武雄

友人　金成通

父清臣儀　永々病氣加療中之處藥石効なく本日午前四時三十分死去致候間生前中の御懇情を謝し御通知に代へ本紙を以て辱知各位に謹告仕候

追而來る十二日午後一時本町桃源山常春院に於て佛式相營み申候

昭和七年十二月九日

福島縣植田町

嗣子　前田清美

親戚　山田肇

總代　吉野喜三

根本武雄

友人　金成通

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、專門

平町南町（元眞木辯護士跡）

增田耳鼻咽喉科醫院

電話　四八二番

（入院隨意）

難波醫院

內科　一般

醫學博士　難波睦

平町大町新川端（電話五〇二番）